

自主防災組織の活動事例

平成29年度知事表彰（消防関係：自主防災組織部門）受賞団体

- 1 ふたおいじま 蓋井島自治会（下関市）
- 2 のしま 野島地域自治会連合会自主防災組織（防府市）
- 3 ゆまち 湯町区自主防災隊（長門市）
- 4 くめ 久米地区自主防災協議会（周南市）

自治体消防70周年記念表彰（自主防災組織部門）受賞団体

- にしきわ
西岐波校区自主防災会（宇部市）

1 蓋井島自治会(下関市)

<組織の概要>

設立年度：平成16年度

組織人員数：約100人

<組織設立の経緯>

離島という地理的条件において、戦後まもなく自助の精神から消防団が組織され、毎年消防訓練を行うなど積極的な活動を行ってきた。その中で、「自分たちの島は自分たちで守らねばならない」という意識が島民の間で高まり、平成16年に、自治会自主防災規約が定められ、自主防災組織が結成された。



<主な活動内容>

- 消防団や婦人防火クラブ、地元小学校と連携し、地震や津波、大規模火災など、毎年想定を変えて訓練を実施している。また、定期船が欠航することも想定し、海上自衛隊との連携訓練も行っている。
- 平成17年度に自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、救助資器材や救急資器材などの防災資器材を整備し、災害に備えている。

2 野島地域自治会連合会自主防災組織(防府市)

<組織の概要>

設立年度：平成19年度

組織人員数：約40人

<組織設立の経緯>

野島は、防府市の南側に位置する離島で、高齢化率が最も高い地域であり、災害時には単位自治会のみでの対応が困難であることから、自治会同士が協力することで、野島全域を地域住民が守ることを目的に、3自治会（野島東、中、西）で自主防災組織を設立した。



<主な活動内容>

- 地震による津波及び火災発生といった複合災害を想定し、消防本部、消防団、小中学校と連携し、中学校への避難訓練、消火訓練や講習会等を実施。また、離島での孤立化対策として、海保・県航空隊との連携訓練を実施。
- 地域で避難行動要支援者名簿を作成するとともに、市から避難行動要支援者名簿の提供を受け、災害時には要支援者には率先した声かけ、避難誘導を行っている。

3 湯町区自主防災隊(長門市)

<組織の概要>

設立年度：昭和56年度

組織人員数：約340人

<組織設立の経緯>

古くから湯治場として知られている俵山温泉がある湯町区は、昔から木造住宅と旅館が密集しており、特に火災に対する防災意識が高い地域性があった。

また、災害時は消防署への出動要請から到着までの時間を要することが考えられるため、防災隊による初動活動で被害を軽減し、消防署や消防団に引き継ぐことが重要であることから、災害に対して地域で協力して対応する体制を整備するため設立された。

<主な活動内容>

- 地域で行われる訓練には、消防団や地域住民の参加のみならず、地域内で営業されている多くの旅館の経営者や従業員も積極的に参加しており、地域での連携を強化するなど、協力体制を整えている。
- 地域で避難行動要支援者名簿を基に、個別計画を作成している。



4 久米地区自主防災協議会(周南市)

<組織の概要>

設立年度：平成16年度

組織人員数：約9,500人(地区住民)

<組織設立の経緯>

平成17年2月に久米地区自治会連合会の自主防災部門として立ち上げ、平成24年に地区住民から自治会連合会内の一つの運動から防災・安全に特化した力強い活動への要望・期待を受けて久米地区自主防災協議会として独立した。

<主な活動内容>

- 平成27年度に周南市防災危機管理課と協働して市内で初めて避難行動支援事業に着手、個別計画票を作成し以後毎年フォローアップしている。
- 子どもや子育て世代の防災意識の向上を目指し、小学校・コミュニティスクールと協力して防災ウォッチングを実施したり、小学生とその家族を対象にデイキャンプや防災体験プログラムを実施している。



自治体消防70周年記念表彰（自主防災組織部門）受賞団体 西岐波校区自主防災会(宇部市)

<組織の概要>

設立年度：平成14年度

組織人員数：約13,500人（地区住民）

※平成24年度知事表彰

消防関係：自主防災組織部門受賞



<組織設立の経緯>

平成11年(1999年)の台風18号による被災経験をもとに、自治会連合会が中心となって、地域の様々な団体と話し合った結果、自主防災組織の必要性に気づき、自主的に組織づくりをされ、被災から3年後に宇部市では初めて、校区全体の自主防災組織として結成。

<主な活動内容>

- 平成11年(1999年)台風18号による高潮被害を表す「浸水表示板」の設置。
- 社会福祉協議会等多くの団体が参加する校区防災訓練を実施。
- 校区の婦人連絡協議会や消防団等と日頃から連携し、炊き出し等の訓練を実施している。